

第 2 回 意見交換会 要旨

開催日時	1 1 月 2 0 日 (火) 1 9 時 0 5 分 ~ 2 1 時 2 0 分		
市町村名	波 田 町	グループ名	
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		

前回の記録の確認：要旨の方を公開する

今回から要旨の記録を松本建設事務所で行う

提供資料の説明（建設事務所）

- ・ 「活力とやさしさのあるアルプス都市圏を目指して」（パンフレット）
- ・ 塩の道ハイウェー（概要版）
- ・ 「概略ルート検討」（これまでの調査結果）
- ・ 費用対効果の検討
- ・ 将来の交通量の予測

波田町マスタープラン概要版（説明：波田町建設課）

意見交換

- ・ 中部縦貫自動車道の現状を確認したい・・・（県）新聞報道以上のことはわからない、高規格道路の情勢は厳しいと認識している、国道 1 5 8 号は、電源開発でできた道でトンネルが 2 0 箇所あり危険なところから中部縦貫の一部として作るという協議はあったが、それ以上のことは今のところ分らない
- ・ 幻の上に話を聞いているようだ、波田 I C いらぬものになるのではないかな
- ・ 国道 1 5 8 号の大型車の通行を禁止すれば、スムーズになる、例えば 4 トン車以下とか、大型の通行がだめな道路で影響があるなら国が喚起して整備をすることになるのではないかな
- ・ 大型バス同志のすれ違いは難しい、安房トンネルが開いてからよけいひどい状況にある（国道 1 5 8 号）
- ・ 資料（塩の道ハイウェー）では、今の状況との比較で松本糸魚川連絡道路の必要性が見えてこない、スキーズン混むのは大町から北、なぜ最初のとっかかりの調査区間が大町～堀金なのか分らない、一番平坦なところでやりやすいところから手を付けるなんて、糸魚川がそんなに産業が発達したところなのか疑問を持つ
- ・ （国道 1 5 8 号）トンネルの規制でなく大型がすれ違えるように先に直した上でハイウェーの話があるのでは

- ・ 将来交通量の予測はどうやって出すのか・・・（県）交通センサスという交通量の調査を5年に2回行っている、最近ではH11とH9、OD調査（出発地から目的地の調査）を産業や通勤などの分類で抽出調査して日本全国で将来地域間の交通量がどうなるかを予測する
- ・ ファクターはどうなっているのかH32に人口がどうなっているのか、少子化で交通量が増えるのか・・・（県）人口、車の保有率、各道路種別での分担率などの予測の組み合わせの結果
- ・ 費用便益費がどうしてA、B、Cの順になるのか分からない、松本から遠回りしているルートがなぜ便益が大きいのか・・・（県）現状のODで環状高家線のウエイトが大きく作用しAルートの交通量が大きくなる、観光要素であるとCルートでないかと個人的な印象を持っていたが、環状高家の現状の物流が松系へ転換するという予測結果となった
- ・ 産業が主な要因となるのか・・・（県）物理的な計算しかできない、その他の自然とか観光などの要素が入らない
- ・ 環状高家線は4車で計算されているのか、中部縦貫ありきか・・・（県）そのとおりです
- ・ 良く利用するがサラダ街道の交通量が多い、道路の計画は必要である、全体の道路のプランの中の一部が松系であると説明すべき、松系が先でない、将来の全体での道路ビジョンが是か非かで、その中の一部で松系を進めていくべきだ、前回より色々よく分かってきた
- ・ 平成元年のテクノハイランドの冊子にアルプス周遊道路として出てきた、バブル期のデータで豊科から糸魚川を波田から糸魚川に変えた、バブルの絶頂期に考えた松系でないか、11月20日の朝日新聞に掲載された記事によると20年後に交通量が減少すると国土交通省が言っている、2020年をピークに交通量が減少すると、減少する予測を発表するのは初めてではないか、これまでは、GDPが毎年1.9%ずつ伸びていた、今後の道路行政に大きく影響する出来事と考える、バブル期の計画の前提が崩れてきている、波田から大町は必要なのか渋滞になったことはない、国道158号、中部縦貫なども合わせ道路で現道を含め部分部分で整備をするべきだ、波田ICまで中部縦貫にも疑問、最初から一般道でバイパスわざわざ中部縦貫の必要はない、11月10日の13次五計でこれまでの考えは崩れた、松本糸魚川必要ない、少なくとも大町以南に関しては、大町より上は道路が一本だけでいいのかといくこともあるが、これからはGDPをマイナスで見込まないといけない
- ・ ヒトラーは高速道路を造ってとなりの国を攻めた、欧米は高速道路整備をしてきたが日本は島国で道路を造らなかった、鉄道に頼って今ようになった、特定財源6兆円、年間一般財源入れて20兆円国は出している、長野県日本で一番遅れている地形的な理由もある、知事はいらないと言っているが他の県はみんな必要と言っている、せっかく税金である、道を造った方がいい、松本平だけで考えるので無く国全体として静岡から糸魚川は必要だ、日本中ではまだまだ道は必要だという方向だ、日本の隅々まで発展するには必要だ、この5年や7年前に決まったことでない、20年も30年も前から道が開けばいいなといった積み重ねでできている
- ・ 大町から波田間は、3ルートある今までのことを考えれば最近すごくよくなっている、もう1本というのは無駄のようだ、大町以北は通行止めにならないように高規格道路ではなく整備をすればいいのでは
- ・ 高規格道路にこだわり高速道路を造る必要があるのか、整備してもらいたい道はいっぱいある、松系に3,000億や5,000億もつっこむのか、なぜ大町から堀金が真っ先なのか分からない、これから先どうなるのか分からない、今は一般道にもっと金をかけるべきだ
- ・ 道路を造ることには反対はしない、ただ高速道路の必要性には疑問を感じる、波田から大町については今の道路を使うなり高規格を組み合わせるなりいろいろ考えられる、行政が造りたい道路と住民が造りたい道路が違うのでは、使う側のアセスメントなりプライオリティが優先されるべきだ
- ・ 道路の計画を立てるのはいいが高速道路ということではなく将来像を見据えて一般道の中で考えればどうか、日

本の経済構造の中で道路は必要だと思うので、ただ、高速道路は反対

- ・ 道ができればよいということだけでない場合もある、道ができれば通過交通となってしまう地域に対してはどうか、行政は住民の声をよく聞いてもらいこれからの子供のために本当によいものを作ってもらいたい、こういう意見交換の機会はいいいことだ
- ・ 費用対効果において物流が大きなファクターとなることがよく分かった、そのことで産業優先という評価の仕方であるということが分かった、波田を抜けていく、中巾を4車線ですごい道路像であることが分かった町民のエゴとしていえばすごく不快な道路である、環状高家線をそのまま延ばせばよいのでは、一番工業団地に近くいいと思う
- ・ 地元の既設の道路整備は十分でないのにこんな説明会はどうしてか、既設道路の整備の提案はしてくれないのか・・・(司会)これは説明会でない、松本系魚川連絡道路の沿線市町村での意見交換会
- ・ 地元波田町を考えると松本、山形どちらの方面へ行く道も狭い、全体の道路計画の一部の中で松系があるような考えならまだいい
- ・ こういう懇談会みたいなもので町の道路のことを考えることを町でしてもらえばいい
- ・ 波田から大町へ行く道は何本もあるがどれも中途半端だ、どれかの道を倍の広さにしてバイパスにすればいいと思う
- ・ 松本系魚川道路が必要かどうか自分の中で具体的には決めていない、下島に中部縦貫、波田ICができたとすれば将来の町づくりのビジョンとして、ICの周辺は開発されるところ、区別すべきだ松系もそこを開発するならそこを通すように努力するべきで筑摩野線も出てくる、そこから西につづく土地改良区の優良農地は残すべきでそれをセットで考えていくべきだ
- ・ 今の現道の整備をするところがいっぱいある、要望しても整備されない、国道と電鉄の横断には本当に困っている、松系もあった方が経済効果は上がる
- ・ 高速道路は今の経済状態や小泉首相の話を聞いているともうできないと思う国道158号も現道を広げればいいのか、提示された資料は古い現在にそぐわない、これからは公共交通網を整備する地球環境やエネルギー環境中心の政策に転換し、子供達に今のいい環境をどう残すかが重要だ、現道の改良を一番に考え農地を潰すのは最小限に考えるべき、波田町の東西南北の重要な中巾を横断する道は地下で市道守口線へつなげないかそうすれば潰れる農地が少なくなるのでは、今の環境をいかに守っていくかでプランを練り直すかが重要だ、経済のことはその次で
- ・ 平成6年のデータを基にした資料は古い、社会情勢の変化著しい、やりたくてもやれない状態、経済の今後や公共事業、行政の仕事の民営化という小さな政府となっていく平成11年の新しいデータで資料を作れば変わってくる、新しい観点で考えることが重要、波田町の身近な道路こそ早急に考えるべき
- ・ でっかい道路が近くにあれば便利ではあるけれど利用されなければもったいないという感覚、波田町のマスタープランの中に4車線というものが出ていない、現状の道路今の交通量をさばくのが精一杯でないか、町の中の道路の整備必要、松系やるのであれば波田町の遠くの方からやってもらおうとありがたい
- ・ 波田町マスタープラン策定に参画したが平成7年頃からこれもバブル時代のものか、道路のことも一生懸命したつもりだったが、全体構想の中の松系、筑摩野幹線、渋滞対策道路、早くやっちゃえばよかったかもしれないけど、今、我々の意見が言えるようになってよかった、波田町の中で整備することいっぱいある、どれが優先するかである、中巾の区画整理にも関係している、手法の中で県の道路を持ってきて整備することは道路だけを考えれば金をかけないで整備する手法の一つであるが、住宅地の中に筑摩野幹線がくるという反面を持っている、マスタープランもう一度やり直さなければという感じだ、もう一つ市町村の合併が重要な位置にくると思う、松系と我々が一番住みよいことが両立すれば、高山から富山にかけてすごい整備されているのを見

た、つながればもっと早く行けるようになる、むこうはどんどんやっている、こっちは膠着していると実感している、ここに住んでいて波田町の今後についてしっかり考えていくべき

- ・ 波田町はベッドタウンになればとも思う
- ・ 中巾の住宅団地内に4車線道路はあり得ないのでは、バイパス道路とは市街地をはずして作るヨーロッパから来た考えで目的地へ早く行くための道
- ・ 中部縦貫が見直しの中で廃止の案になったらどう考えるのか、松糸は、・・・(県)今の段階では決めていない

次回 もう1回行方、欠席者に通知するとともに前回と同じように広報、回覧で再度参加を呼びかける